

ぶろしよつぷつうしん

レーンもいろいろ

レーンにもいろいろな種類があることをご存じですか？

普段打球していると、コンディションについてはいろいろ気にされる方は多いかと思いますが、しかし、レーンの素材にもいくつかの種類があつて攻略法も異なつてきます。

レーンの種類については、「ウッドレーン」「合成レーン」の大きく二つに分類されます。「ウッドレーン」はその名の通り、木ででき

たレーンです。木がオイルを吸つたりしますので、ゲーム数が多くなつていくと、バックエンドにオイルが延びるというよりはオイルがなくなりやすい傾向があります。また長年の蓄積により、レーンによつて差を感じることも少なくないと思います。

また木を使っていることから凹みなども当然出てくるので、数年に一度、リサーフェイスと言つてレーンの表面をきれいにならすという作業をしています。リサーフェイス後は、またオイルの乗り方も変わってきます。センターによつては、レーンの上に特殊なフィルムで加工しているところも少ないですがあります。

一方で「合成レーン」はプラスチックでできたレーンです。ウッドレーンとは違い、オイルの吸い込みなどはほとんどない分、逆にバックエンドにオイルがのびやすい傾向があります。またメーカーによつては同じプラスチックレーンでも使っている素材は異なるので、同じ

コンディションをひいたとしても、微妙に異なつたり変化の仕方も異なつたりということもあります。

ですので、普段合成レーンのセンターで投げている方がウッドレーンで打球すると感じ方が違つたと思う方は少なくないと思います。レーン攻略のためには、こういった知識を少しでももっているだけで、なにかしらのヒントになるかもしれませんよ。

新商品情報

一つ目はブランドズウィック「マスターマインド・アインシュタイン」です。マスターマインドシリーズ最新作となりますが、先日の女子新人戦の優勝ボールとなるなど、

前評判の非常に高いボールです。キャリアダウンに負けないバックエンドの動きが魅力の商品です。

二つ目はストーム「グラビティ・フロウ」です。長い期間に渡つて使用されている、シェイプロックHDコア搭載商品です。驚くくらいのピンアクションにご注目ください。

このほかにもロトグリップ「ロコ」など、お手頃価格の商品も発売されます。

前回まで表面加工についてお話をしてきましたが、今回はこの表面加工を自動でやってくれる機械についてご紹介いたします。

各メーカーで様々な機会が発売されておりますが、当ショップでは「サーフェイスファクトリー」を導入しています。構造は意外とシンプルで、内部に指定の番手のパッドを装着するのみです。そうするとボールをランダムに回転させながら指定の番手で磨いてくれます。ポリッシュ液についても、ポリッシュ液のタンクがありますので、そこから適量の液が出てきてボールを回転させながら磨いてくれます。

特殊なことをしているようで、実は手でやる作業を自動的にやってくれているとメリットして時間短縮はもちろんですが、スピナーを使用すると、一定方向にしか回転しないのに対し、機械ではランダムにボールを回すので、全体的に均等に磨くことができるのと同時に、出荷状態により近づけることができます。

なお、あくまで表面加工をするだけの機械です。オイル抜きなどは一切しませんのでご注意ください。

使用方法など詳しいことはスタッフまで聞いてください。

